

編集発行・大田原市森林組合 栃木県大田原市黒羽田町 222
TEL 0287(53)1212(代) FAX 0287(54)2877
メールアドレス forest04@jf-ohtawara.or.jp

印刷・(株)近代工房



【特集】

- 第38回通常総代会開催
- 新役員就任挨拶

【Topics】

- 立木調査の今～研修に参加してきました～
- 森林環境税（仮称）と森林環境譲与税（仮称）について

【Information】

- 平成30年度春季優良木材展示会開催
- 大田原木材共販市況
- 新入職員紹介
- 組合からのお知らせ



【特集】

第38回通常総代会開催

去る6月6日（水）大田原市森林組合 大会議室において
総代ならびに来賓の皆様にご出席いただき 開催することが出来ました



当日は井上正男代表理事副組合長の場の引き締まる様な開会挨拶から始まりました。次に須藤義朗代表理事組合長より「平成二十九年度は、販売事業の損益が大きく上回り、事業利益に繋げることが出来ました。組合員のご理解・ご協力、関係機関のご指導の賜と深く感謝申し上げます。平成三十年度も努力精進いたしますので、今後とも宜しくお願いいたします。」と挨拶いたしました。

その後平成二十九年度において各事業に協力いただいた方に、感謝の意を表して表彰をさせていただきました。受賞おめでとうございます。

また、大田原市長代理齋藤勝芳農林整備課長、栃木県森林組合連合会江連比出市会長並びにご出席いただいた来賓の皆様にご祝辞をいただいたき、議事に入りました。

議長に選任されたのは須賀川地区の菊池久光氏。スムーズな議事進行により、平成二十九年度決算関係及び平成三十年事業計画、全議案について原案どおり可決決定いたしました。

詳細は別途配付させていただいた総代会資料をご覧ください。

受賞者紹介

■大田原市森林組合長表彰

☆木材出荷協力者 鈴木 利彦 様
☆木材出荷協力者

☆森林保険事業契約協力者
FITJAPAN合同会社 様

☆優良技能班員 齋藤 淳一 様
☆優良技能班員 吉成 貢 様

■全国森林組合連合会会長表彰

☆優良職員功労賞 大金 聡 様



吉成 貢



FITJAPAN合同会社



大金 聡



新役員就任挨拶

本年度は役員任期満了に伴い改選となりました。役員選任規定に基づき、役員推薦会議において、理事十一名、監事三名が推薦され投票により選任されました。

また総代においては、去る五月二十四日に審査会を行い、立候補者と定数が同数だったため、投票を行わずに当選となりました。



代表理事組合長
植竹 雅弘

去る六月六日開催の当組合通常総代会並びに理事会において、代表理事組合長に選任され就任いたしました植竹雅弘です。組合員の皆様におかれましては日頃より組合運営及び各種事業にご協力を頂き御礼を申し上げます。

皆様ご承知のとおり、林業を取り巻く環境は依然として厳しく、最近よく耳にする「儲かる林業」の実現は簡単なことではありません。しかしながら今般、栃木県においては県産木材利用

促進条例の施行、元気を森づくり県民税の継続、国においては森林経営管理制度の導入等、行政の森林整備に対する支援体制が充実してまいりました。

大田原市森林組合といたしましては、これら諸制度を有効に活用して、山林所有者である組合員の皆様の利益を最優先に各事業を推進してまいります。

そのためには特に伐採から植付下刈等の一貫施業と集約化施業等、組合の優位性を十分に活かすことが重要であります。

組合員の皆様におかれましては、所有山林の伐採または売却、譲渡や相続等のご相談やご質問、どんなことでも組合にお申し付けください。「森林組合に頼んでよかった」と皆様に喜んでいただける様、全力で努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



理事
稲野 正文



理事
鈴木 安幸



理事
益子 利之



代表監事
屋代 恵一郎



代表理事副組合長
三森 静治



理事
松浦 正則



理事
鈴木 基允



理事
菊池 格



理事
佐藤 勇



理事
青木 茂男

これから宜しく
お願いいたします



監事
新江 和平



監事
蓮實 常夫



理事
笹沼 保治

新総代・参与

次期改選までの三年間、宜しくお願い致します。
(敬称略) ○印参与)

第一区須賀川地区 (六十五名)

- 須賀川上 ○菊池 徹 鈴木 清治
- 高野 堅氏 谷地 知男
- 菊池 久光 谷地 信一
- 須賀川中 ○小西 孝夫 川嶋 隆夫
- 木村 正秀 ○菊池 富也
- 佐藤 憲一 ○菊池 秋男
- 屋代 眞文 菊池 健志
- 菊池 戦一
- 須賀川下 ○川嶋 紀子 大高 一紀
- 屋代 文雄 ○藤田 隆雄
- 屋代 賢一 屋代 卓郎
- 屋代 幸子 ○嘉藤 孝男
- 菊池ひろみ 屋代 良造
- 湯本 一男 大室 一郎
- 屋代 憲一
- 須佐木下 ○和知 誠 佐藤 貞夫
- 外池 孝義 ○益子 盛夫
- 松浦 節 佐藤 長次
- 佐藤 克己 佐藤 瞳
- 佐藤ケイ子
- 雲岩寺
- 大塚 龍樹 渡邊 弘
- 和田 正明 和田 史郎
- 露久保
- 川島 温夫 大塚 武男
- 川島 延行
- 川上
- 益子 浩之 佐藤 郁子
- 佐藤 ミエ 藤田多可志
- 南方
- 佐藤 輝治 菊地 松男
- 佐藤 力三 ○鈴木 正夫
- 鈴木 正一 ○鈴木 光秀

第二区黒羽地区 (六十六名)

- 黒羽町田 ○室井 良則 佐藤 宏
- 齋藤 善夫 鈴木 昭一
- 前田 ○生田目恒夫 石川 紀子
- 黒崎 和雄 石川 隆幸
- 三森 隆 平山 久
- 堀之内 ○佐藤 威夫 川上 靖寿
- 小室 正善
- 北野上北区 ○三森 英夫 鈴木 新司
- 石川 昇 三森 新一
- 石川 精一 田代 稔
- 須賀川上 藤田 修
- 北野上南区 ○小藤 和夫 伊藤 秀男
- 佐藤 邦博 ○伊藤 昭
- 川嶋 雅彦 ○益子 一之
- 井上謙一郎 小室 三邦
- 磯 克己 鈴木 昌木
- 八塩
- 瀧本 忠 丸山 一雄
- 北滝 ○丸山 明雄 黒澤 昭治
- 古森 俊一 大沼 正
- 阿見 芳 阿見 章司
- 齋藤 正雄 大森 茂八
- 齋藤 義昭 関 清寿
- 片田 ○齋藤 淳一 齋藤 雅之
- 齋藤 達治 田代 延夫
- 齋藤 文昭 磯 昭治
- 齋藤 市男
- 亀久 ○宮崎 宏美 吉成 和一
- 吉成 信一 ○菊池 保
- 蓮實 芳守 関口 賢
- 大金喜一郎 大金 克美
- 矢倉 ○大金 恵二 本澤 正行
- 黒羽向町 ○鈴木 和夫
- 星 哲男
- 大豆田
- 佐藤 孝子
- 蜂巣 ○室井 健二

第三区西郷地区 (四十四名)

- 松本 千村 高崎 忠
- 三森 清史 関谷 正志
- 五月女光男 石川 文男
- 高倉 孝 関谷 昭一
- 弓座 敏夫 弓座 芳則
- 井上 一義 関谷 貞
- 石川 宇一
- 両郷 ○益子 正則 渡辺 隆一
- 星田 雅人 伊藤 栄作
- 寺宿 ○鈴木 義彦 鈴木 敬一
- 瀧田 大 菊池 伸幸
- 木佐美
- 関谷 栄一 益子 照雄
- 大久保
- 綱川 勲夫 手塚 桂治
- 渡邊 昭雄
- 久野又 昭雄
- 佐藤 三男 池澤 高
- 室井 秀夫 阿久津安信
- 渡辺喜一郎
- 寒井 義則 白井 宗治
- 菅生 賢治
- 普生 賢治
- 矢村 義則
- 松本 保男 高崎 忠
- 小泉 善弘 関谷 正志
- 菊池 正美 岡野 忠雄
- 中野内
- 五月女光男 石川 文男
- 高倉 孝 関谷 昭一
- 弓座 敏夫 弓座 芳則
- 井上 一義 関谷 貞
- 石川 宇一
- 両郷 ○益子 正則 渡辺 隆一
- 星田 雅人 伊藤 栄作
- 寺宿 ○鈴木 義彦 鈴木 敬一
- 瀧田 大 菊池 伸幸
- 木佐美
- 関谷 栄一 益子 照雄
- 大久保
- 綱川 勲夫 手塚 桂治
- 渡邊 昭雄
- 久野又 昭雄
- 佐藤 三男 池澤 高
- 室井 秀夫 阿久津安信
- 渡辺喜一郎

やみぞ

(5)

- 大輪
- 小室 徳宝
- 生田目一延
- 大野 幸一
- 室越 新市
- 大森 清五
- 川田 勝
- 矢板 筆明
- 加藤 勝
- 大塚 和男
- 大田原 宗一
- 櫻岡 清孝
- 稲村 宗一
- 岸 晃一
- 菊池 隆雄
- 新江 章平
- 村上 貴志
- 熊田権一郎
- 藤田 清
- 佐久山 善夫
- 高瀬 隆至
- 北原 庸弘
- 石崎 邦夫
- 藤沢 秀造
- 泉田 純一
- 高橋 秀造
- 橋本 憲雄
- 宇田 貢
- 中野 国男
- 遠山 勉
- 八木澤秀男
- 親園 一二
- 大島 一二
- 野崎 久
- 松本 久
- 湯津上 邦道
- 深澤 邦道
- 那須塩原 みよ
- 柳 みよ
- 渡辺 敏秋

第四区大田原地区 (二十五名)

退任された
役員の皆様

組合運営にご尽力いただき誠にありがとうございました。大変お世話になりました。引き続きご指導の程宜しくお願いいたします。



↑右から前代表理事組合長 須藤義朗 (理事期含め7期)、前代表理事副組合長 井上正男 (理事期含め6期)、前理事 関谷忠 (4期)、前理事 磯孝男 (監事期含め2期)、前監事 福田耕次 (1期)



須藤義朗組合長
長い間大変お世話になりました

コラム



Q「総代」と「参与」は何が違うの？

A「総代」は各地区組合員の中から選ばれます。主に年に一度の通常総代会に出席をお願いしています。「参与」は各地区総代の代表です。主に各地区の組合員へ資料配布や回収、参与会や研修会への出席をお願いしています。

各地区ごとに「総代」と「参与」の数が決められているため人数が多い様に感じますがご了承ください。

【Topics】

立木調査の今

先日七月十二日開催の研修会に参加してきました。そこで紹介されていたのが森林三次元計測システム「OWL」です。この計測装置を設置し、およそ10m間隔毎にボタンを押下。四五秒経ったら次の場所へ移動して同じ作業を繰り返す。たった

これだけの作業で20m×20mのプロットを約十五分(二プロット当たり約六十本、一分当たり四本)で調査可能になります。立木調査は労力がかかるもの、その割に得られたデータは限られており、計測制度に個人差がある。そんな課題を解決するためにこの装置は開発されました。ボタンを押すだけで胸高直径、樹高、曲り、位置図、平均材積などの情報を得られ、またパソコン上で三次元の森林を再現できるようです。一人で調査も可能になり、効率化を図るので組合でも今後導入を検討したいですね。



↑山林でのOWL使用中 (株式会社アドイン研究所 森林3次元計測システムOWL <https://www.owl-sys.com/>より引用)



【Topics】

森林環境税（仮称）と
森林環境譲与税（仮称）の創設

昨年末に決まった平成三十年
度税制改正の大綱において、森
林環境税及び森林環境譲与税の
創設が決まりました。

① 温室効果ガス排出削減目標の
達成、災害防止を図るための
森林整備等の地方財源を安定
的に確保すること

② 森林現場の課題に対応するた
め、現場に最も近い市町村が
主体となって森林を集積する
とともに、自然条件が悪い森
林について市町村自ら管理を
行う「新たな森林管理システ
ム」を創設すること

以上のことを踏まえ、国民一
人一人が等しく負担を分かち
合せて我が国の森林を支える仕
組みとして創設されることとな
りました。

当組合でも、林業の成長産業
化と森林資源の適切な管理に貢
献できるよう努めてまいりま
す。

◇森林環境税とは◇

平成三十六年（二〇二四）か

森林環境税（仮称）及び森林環境譲与税（仮称）の制度設計イメージ
森林整備等のために必要な費用を、国民一人一人が広く等しく負担を分任して森林を支える仕組み



ら開始予定で、個人住民
税均等割で国民一人当た
り、年額千円を市が徴収
します。その後市→県→
国へと納付します。

◇森林環境譲与税とは◇

平成三十一年（二〇一
九年）から始まり、国民
から徴収した税を、市や
県に配分します。

この税は

←森林環境税（仮称）及び森林環境譲与税（仮称）
の制度設計イメージ（林野 H30.2月号より引用）

- ① 間伐等に係る境界画定や作業
路網整備
- ② 人材育成と林業担い手確保
- ③ 木材利用推進と普及啓蒙
等に使われます。

◇新しい森林管理システムとは◇

- ① 森林所有者が適宜伐採、造林、
保育を実施し、森林経営を持
続する責務を明確化
- ② 森林所有者が森林経営を实行
できない場合、森林所有者の
申し出により市が経営・管理
を行うことが可能に。↓管理
費用は森林環境贈与税で賄う
- ③ 市は経営管理権を森林所有者
から取得できるよう措置
- ④ 市は森林所有者の森林経営意
向調査を実施
- ⑤ 県は意欲と能力のある林業経
営者を募集、選定
- ⑥ 経営放棄地の集約（経営管理
権を集積し、市が経営を担う）



【Information】

平成三十年
度
春季優良木材展示会開催

三月二十三日大田原共販所
において春季優良木材展示会が開
催されました。

多数出品材がある中で、当組
合から三名の方が受賞されまし
たので紹介させていただきます。

◆入賞者紹介◆

☆栃木県森林環境部長賞
（ヒノキ中丸太）
平山 久・原田政樹 様

☆栃木県森林組合連合会長賞
（ヒノキ小丸太）
帝国造林株式会社 様

☆八溝地区流域森林・
林業活性化協議会長賞
（スギ中丸太）
松本 正男 様

入賞おめでとーございませう。
ご協力ありがとうございました。

(2) アカマツ・サワラ種品表

材 長	4.00m	4.50m
径線範囲	18~24cm	26cm以上
敷 量	1㎡以上	9㎡以上

(3) スギ・ヒノキ・アカマツ・サワラ種品表

材 長	3.00m以上
径線範囲	4cm以上
敷 量	同径線2㎡以上

(注) 出品物の標準数量は表裏にて掲載します。

6. 展示品の搬送および取扱い
 (1) 出品物の搬送について責任を有し、搬送中の出品物の損傷には責任を負いません。林野庁長官官、樹木活用推進、産産局等が主催、樹木活用推進協議会会長賞を授与します。
 (2) 出品物全部に出品料がかかります。

7. 販 売
 樹木活用推進協議会の定める「販売規則」により入札販売します。

8. 出荷方法
 出品物の出荷は、出品申込書に提出のうえ各地卸業者日10日前までに各会場へ出荷願います。

※ なお、詳細につきましては各会場連絡先または各本材共販所にお問い合わせ下さい。

平成30年度
 栃木県優良木材(茶材)展示会開催要領

1. 開催の目的
 県内の優良木材の展示を行い、需要に即応した優良材の生産を奨励するとともに、出品材の流通の活性化を促進し、もって県有林産物の振興と木材需要の拡大を図ることを目的とする。

2. 主 催
 栃木県 樹木活用推進協議会 (TEL: 028-437-1430 FAX: 028-637-1450)

協賛 栃木県共販所 TEL: 0289-63-2284 FAX: 0289-63-2141
 茨城県共販所 TEL: 0287-45-8072 FAX: 0287-42-9229
 大田原共販所 TEL: 0287-23-2459 FAX: 0287-23-4946

3. 開催日程および会場

場 所	場 所	場 所	場 所
期 間	10月31日(木)	11月8日(木)	11月21日(木)
展 示 日	10月25日(木)	11月9日(金)	11月11日(土)
会 場	指定未定です。		

4. 出品物および出品物
 出品物に際しては森林を所有している方とし、出品物は県有林産物のスギ・ヒノキ・アカマツ・サワラの素材とする。

5. 出品物の径線区分および数量

(1) スギ・ヒノキ種品表

材 長	3.00m	3.65~4.00m	3.50m以上	4.00m以上
径線範囲	18~24cm	22~28cm	26cm以上	18~24cm
敷 量	1㎡以上	8㎡以上	8㎡以上	10㎡以上

◆ 次回の展示会 ◆

秋季優良木材展示会日程

次回の展示会は十一月一日(木)を予定しています。場所は大田原木材共販所です。出品並びに当日のご来場お待ちしております。

* 市況及び入荷状況
 ・平均単価 一〇、七三三円/㎡
 (販売量一、五〇五㎡ 販売率一〇〇%)
 業者の手持ち不足感から、スギ三・六五m小径、柱材は大きく値上がりした。スギ三・六五m中目材は、四m材より引合いが強く、一万三千円台を維持している。ヒノキ材は、入荷が少なく小幅高になっている。入荷は順調です。

樹 種	規 格		単 価		29年同月単価対比	
	長さ(m)	末口(cm)	平均(円)	高値(円)	平均	対比率
ス ギ	3.00	11~14	10,440	12,300	9,430	111%
		16~20	13,420	14,760	12,420	108%
		22~28	13,040	14,370	11,880	110%
	3.65	22~28	13,280	13,560	12,240	108%
		30~	13,510	13,510	12,060	112%
	4.00	10~14	10,630	12,000	10,400	102%
16~20		—	—	9,560	—	
22~28		12,510	13,500	12,510	100%	
	30~	12,700	16,050	13,100	97%	
ヒノキ	3.00	11~14	9,710	10,240	9,250	105%
		16~28	16,140	16,580	15,980	101%
	4.00	10~14	12,490	13,680	11,960	104%
		16~20	19,030	19,250	16,210	117%
		22~28	17,110	18,210	15,860	108%

大田原木材共販市況
 共販目(七月十九日)

◆ 人事 (退職) ◆
 総務課長 菊池 裕子(きくち ひろこ)
 平成三十年三月三十一日付で定年退職いたしました。長い間お世話になりました。引き続き嘱託として組合運営をサポートしてまいります。宜しく願います。



事業課(技能員)
 金木 龍也
 (かねき たつや)



事業課(技師補)
 太田 航輔
 (おおた こうすけ)



事業課(技師補)
 松田 彬裕
 (まつだ あきひろ)

新入職員紹介
 (平成三十年四月一日付)

☆新しいメンバーが3名増えました☆
 これから宜しくお願いいたします!

組合員メニュー

申請書類

- 組合員加入届**
上記ファイルに必要事項を記入してお申し込み下さい。
(073KB / pdf)
- 相続加入届**
上記ファイルに必要事項を記入してお申し込み下さい。
(628KB / pdf)
- 代表者変更届**
上記ファイルに必要事項を記入してお申し込み下さい。
(073KB / pdf)
- 住所変更届**
上記ファイルに必要事項を記入してお申し込み下さい。
(730KB / pdf)
- 面積変更届**
上記ファイルに必要事項を記入してお申し込み下さい。
(652KB / pdf)
- 後継者指定届**
上記ファイルに必要事項を記入してお申し込み下さい。
(61KB / pdf)

組合ホームページより引用

◇相続加入や住所変更、その他変更がありましたら、組合までご連絡ください。それに係る諸様式は、総務課に問合せいただくか、組合ホームページに掲載しておりますのでご利用ください。



◇ニホンジカによる立木の食害が全国で問題になっていきます。栃木県でもニホンジカの生息域が拡大しており、大田原市内でも目撃されています。拡大を防ぐために、山林で目撃された方は組合までご連絡ください。

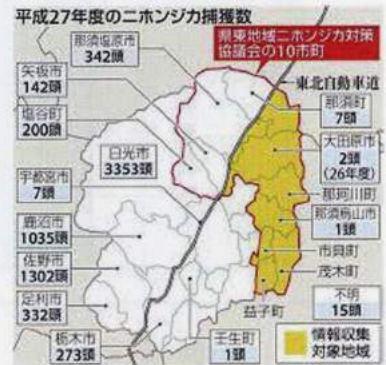
保険金のお支払い対象となる8つの災害

組合ホームページより引用

◇森林保険は森林についての火災、気象災、噴火災による災害を総合的に保証するものです。左図の八つの災害に対応できます。森林の損害への備えとして、森林保険に加入してみませんか。

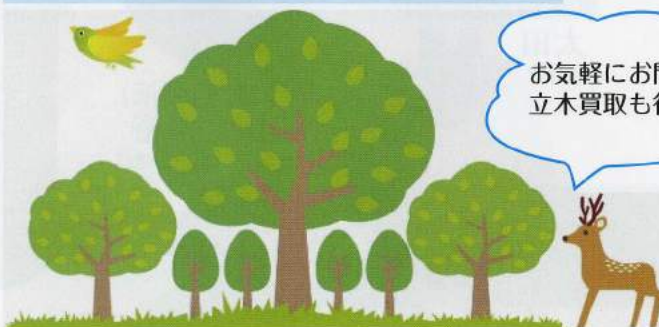
◇組合では一貫施業を行っていただきます。間伐・皆伐・造林・下刈、また屋敷周りの伐採や特殊伐採はお任せください。所有山林の伐採または売却等、お考えの方は組合へ相談下さい。

◇平成二十四年度に森林経営計画制度が始まり、早五年が経過しました。五年前に計画樹立した区域に関して、新たに計画を更新しなければなりません。計画を更新することで、補助事業の申請ができ、効率的に作業を行うことができます。契約更新を進めておりますので、ご協力お願いいたします。



平成27年度のニホンジカ捕獲数(産経ニュースH29.7.3【とちぎ解剖】より引用)

山林・立木の売却をお考えの方は
まず組合へご相談を！



お気軽にお問合わせください
立木買取も行っております！

◇組合の業務時間

☆夏季
(三月一日～十一月三十日)
午前八時十五分～午後五時

☆冬季
(十二月一日～二月二十八日)
午前八時三十分
～午後五時十五分